

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月分）

留学先大学：ホーチミン市外国語情報技術大学

氏名：佐藤 恵美

皆さんこんにちは。ベトナムは例日気温が高く、そろそろ雨季の時期に入ろうとしています。急なスコールが発生し、一時的に大雨が降るみたいです。さて、今月は身の周りにあった出来事などを紹介していきたいと思います。

3月末から4月中旬にかけて、会計学とマイクロ経済学の間試験がありました。まず初めにマイクロ経済学の試験を受けました。終わったと思ったら、クラス全体の平均点が悪かったらしく、2週間後にミニテストが行われ、計2回受けることになりました。会計学は事前に試験範囲が分かっていたのですが、単語が難しく内容を理解するのに苦労しました。中間試験が終わり振り返ってみると、十分な試験勉強ができず回答することができなかつたと思います。期末試験はさらに難しくなると思うので、今回の反省点を踏まえて挑みたいです。

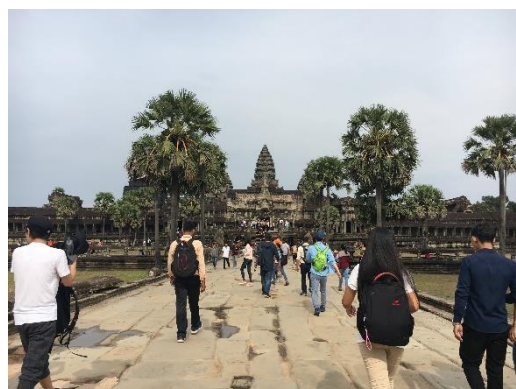
4月20日に、HUFLIT 大学で日本語スピーチコンテストが開催されました。日本語学科の学生12名が出場し、日本語でスピーチを行っていました。私はコンテスト数日前に、何人かの学生からスピーチの内容を確認してほしいと頼まれ、彼女たちの原稿を音読しました。用紙を見たら、読み仮名や気を付けるポイントなどが書かれていて努力が伺えました。



日本語を勉強している学生と交流していると、日本語の難しさを感じるようになりました。文字はひらがなだけでなく、カタカナや漢字があり、日本語特有の敬語や助詞の使い方など、日本人の私ですら間違えることがあります。難しくても勉強を続けて話せるようになっている彼女らはすごいと思いました。コンテスト当日、私は授業があったため、終わってから見に行きました。参加者全員のスピーチを聞くことができなかったのは残念でしたが、緊張しながらも練習の成果を発揮している学生たちのスピーチを聞くことができよかったです。

休日の過ごし方としては、4月上旬にカンボジア・シェムリアップへ行きました。ベトナム留学中にやりたいことの一つがアンコールワットを見ることだったので、ようやく見に行くことができました。ホーチミンからシェムリアップまで飛行機で約1時間かかり、空港で観光ビザを取得しました。空港からホテルまではトゥクトゥクで行きました。人生で初めてトゥクトゥクに乗って、思っていたよりも揺れるなと思いました。翌朝5時集合で朝

日を見に行きました。その日はあいにくの雨で、太陽に雲がかかっている朝日を見ることができませんでした。それから一度ホテルに戻って朝食を摂り、アンコールトムやタプローム遺跡、アンコールワットへ行きました。何千年も前の遺跡を間近で見ることができて良い経験になりました。夜は夕食を食べながら伝統ダンスを見て、充実した一日だったと思います。



2 日目は午前中にベンメリア遺跡へ行きました。約 40 年前に発見されたばかりの遺跡で修復されていない状態で残っていました。神秘的で見るだけでもその壮大さを感じました。午後は中心市街地に戻りパブストリートやオールドマーケットを見ました。歩いていて気付いたことは、ホーチミンとは違って建物の高さがどこも同じぐらいでした。夕方に空港へ行き、夜にホーチミンへ帰りました。短い時間でしたが、街の雰囲気を知ることができたのはこの旅の思い出の一つです。今回は残念ながら朝日を見ることができず、また、調べてみたら他にも地雷博物館や遺跡がたくさんあるので、いつかもう一度カンボジアに行きたいなと思いました。

ベトナム語の授業では、発音中心の勉強を終えて、現在は文法や会話などの勉強をしています。ほんの少しですが、先生が言っていることを理解できるようになりました。「発音はできているが、書くことはできていない」と先生から言われるぐらい、声調を含めた書き取りは難しく、まだまだできていないと感じます。

留学期間の半分が過ぎ、こちらでの生活が早く過ぎるように感じます。残りの期間、悔いの残らないように自分がやりたいことは行うようにしていきたいと思います。